



世界に希望を生み出そう

RI 会長テーマ

2023～2024 年度
大船渡西ロータリークラブ会報

七福人

会 長 紀室 綾子

副会長 松田 福美

幹 事 三田地大悟



= 会長指針 =

希望を胸に心ひとつに

．．． 例 会 記 録 ．．．

6月第2回例会 2024年6月27日(木)

ソング : 奉仕の理想

本日出席率 : % 前回修正後% (マークアップ名) (報告者会員)

★ 会長の時間 : 紀室綾子会長



最後の会長の時間となりましたが、紀室年度の締めくくりとして、群馬の第2840地区高崎ロータリークラブの田中久夫 PG がお書きになった「ロータリークラブに入ろう！」の著書をご紹介して終止符を打ちたいと思います。ロータリークラブが設立された当初、アメリカの新聞記者は創始者ポール・ハリスに取材した際、こう書き記しました。「最近、巷に変な団体ができた。彼が組織した団体は奇妙なことに、会員はその団体から何も得ないどころか、善を行うという特権を手にするために会費まで払うというのである」と。

これこそがロータリークラブの真骨頂なのでしょう。費用対効果を考えると割に合わない、無駄遣いだ、金持ちの道楽だと見なされるかもしれません。しかし、それでもロータリーを愛し、死ぬまで会員を続ける人が大勢います。

では、一体私たちはロータリーの何に惹きつけられているのでしょうか？それは、ロータリーによって「人生の目的」を知ることができるからです。「人生の目的」、すなわち「人が生きる意味」とは何か？新渡戸稲造や内村鑑三といったクリスチャンたちは、人生の目的は「品格の完成」にあると言います。仏教・真言宗の教えでは、人生の目的とは「心を磨くこと」だと説かれています。経営の神様と称される稲盛和夫氏は、人生の目的とは「心を磨き、魂を高めること」であり、「それは生きる目的、人生の意義そのものだ」と言い切っています。ロータリーでは、これらと同じく自分を磨き成長する場なのです。そこに魅力があるのだと思います。孔子が説いた『論語』には次のような教えがあります。「私曰く、己を知る者は之を好む者に如(し)かず、之を好む者は之を楽しむ者に如かず」。つまり、「ロータリアンは、ロータリーをただ知る(勉強する・知識を持つ)だけではなく、ロータリーを好きになり、さらにはロータリーを楽しむまでに至ってこそ本物になれる」ということです。

ここまで一部抜粋し纏めてみました。

「ロータリアンは、ロータリーをただ知る(勉強する・知識を持つ)だけではなく、ロータリーを好きになり、さらにはロータリーを楽しむまでに至ってこそ本物になれる」

この田中久夫 PG の言葉を皆さんにお伝えし、紀室年度を締めくくりたいと思います。
一年間、本当にありがとうございました。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ガバナーエレクト事務所より

2024-25年度よりガバナー月信は完全PDF版に切り替えとなりますとの事。

◆◆◆ 委員会報告 ◆◆◆

★ 親睦委員長 藤原太伸

- ・ 6月13日に開催したゴルフコンペの結果報告
3位 水野賢一 2位 今野豊隆(OB会員) 1位 藤原太伸
- ・ 2次会をドリームに設定しておりますので、皆さんの参加宜しくお願ひします。

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

一年を省みて：五大奉仕委員長

★ 青少年奉仕委員長 新沼達央



青少年奉仕委員会の下期活動報告です。

2月5日にIAC3年生を送る会(三送会)に参加致しました。コロナ化で飲食も中止となったまま、本年も昨年同様に東高校にて開催、6名の卒業生に記念品を添えて卒業をお祝い致しました。紀室理事長・三田地幹事・菅野小委員長にも参加頂き、卒業メンバーの活動報告や抱負を受け、RCメンバーもお祝いの一言を添えさせて頂きました。

紀室会長からは、卒業生全員に池上彰氏の書籍「なぜ僕らは働くのか」のプレゼントもあり、今後にぜひ生かしてってもらいたいと願っております。ちなみに私も、お菓子のサンプルを持参しましたが、会の終了後には、そちらに殺到、私たちへの興味・関心は全くありませんでした(笑)。

今年に残るメンバーが2年生6名だけのスタートと厳しい体制になっており、新2年生の加入がない状態でした。しかし、お世話になった前千葉校長先生の後任の宇夫方校長先生との引継ぎ会を4月の23日に開催したおり、新たにIACをご担当される熊谷先生のご紹介と、1年生5名が自発的に加入し、存続の危機を解消したという喜ばしい報告も頂き安心しました。尚、IAC顧問の前川先生は、吹奏楽部顧問に変更になりました。

また、5月5日には事業開催を再開した、「鯉のぼり子供の集い」の支援を実施し、晴天下で多くの家族連れでにぎわい、当会も例年通り、「手作りのこいのぼり」の作成を担当。連休中の中、7名のメンバーと事務局和賀さんにも参加頂き無事終えることが出来ました。本当にありがとうございます。そして年度の最後には、恒例の大船渡警察署前の花壇整備を、去る6月18日(火)に実施致しました。大船渡警察ボランティア様と3団体で、ちょうど暑さも和らいだ一日で助かりましたが、今年度の青少年委員会の活動を締めくくりました。

今年度も多数の事業にメンバーのみなさんに参加頂き、なんとすべての計画を終えることが出来ました。改めて感謝申し上げます。

以上 簡単ではありますが、下期の活動報告とさせていただきます。

★ 職業奉仕委員長 水野賢一



年間活動計画に掲げていた目標の実践について、職場訪問を除き、会員の皆様との協力のもと、計画どおり実施する事ができました。

職場訪問として、下期に「大船渡市議会の傍聴」を計画しましたが、日程が合わず実行できませんでした。

しかし、先日の役員引継いで「日程調整してでも実現したい」と次期委員長が仰っておりましたので、次年度に期待し活動報告を終わります。皆様のご協力に感謝いたします、ありがとうございました。

★ クラブ奉仕委員長 石川恵美子



クラブ奉仕委員会の活動報告をさせていただきます。

出席につきましては、全会員平均出席率 100%を超えました。

ニコニコ BOX は 17 回で 366,000 円頂きまして、1 回の平均は 21,000 円でした。クラブ会報は佐々木幹子会員・熊谷雅也会員がご逝去され会員不在となり、和賀さんにお任せさせて頂きました。

広報・雑誌は山口会員が毎月ロータリーの友誌を東高校・大船渡高校・市役所・合庁・図書館に配布して下さいました。ありがとうございます。

親睦につきましては、親睦ゴルフが昨年 10 月 11 日は OB6 名含め 15 名・今年は 6 月 20 日に OB3 名含め 10 名で行われました。先日の優勝は藤原会員だったと聞いております。

新年家族会はまるしちザ・プレイスで会員 29 名・ご家族 8 名の参加でした。忘年会は活魚すごうで会員 21 名の参加でした。

記念の花の配達も継続して頂きました。

私自身はなんの役にも立たず、小委員会の皆様に例会の運営をして頂き、こころからお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

特に親睦はまるつきり企画から手配やらすべてお願いしてしまいまして、お詫び申し上げますと共に感謝申し上げたいと思います。ありがとうございました。

★ 社会奉仕委員長 浜田浩誠 代読：三田地幹事



まずもって本日は出席出来ない状況ですので幹事三田地さんに発表をお願いいたしましたので宜しくお願いいたします。

社会奉仕委員会から下期の活動報告をさせていただきます。

11/30 はぐくみの像・記念碑 清掃

3/28 河川敷清掃

4/25 カメラアロード清掃

そして各割り当てではぐくみの像等の清掃作業を致しました。

結果とすれば例会が隔週となっている為、思うように活動できなかったのが本音です。

しかし、過去も振り返ると野外例会は、なぜか出席率が良い！

次期は、なぜ野外例会が出席率が良いのかを考え、通常の例会の出席率に繋がるよう考えて頂きたいです。

皆様のおかげで無事一年を過ごすことが出来、幸せです。

わたくし事ですが、会社都合で今期でこのクラブを去ることになりました。

本当にありがとうございました。

★ 国際奉仕委員長 鈴木秀樹 代読：三田地幹事

まず地区内外国人留学生や研修生との交流を深めるということで

11月30日に株式会社國洋様のご協力を得て外国人実習生2人を招き講演会を行いました。

また3月には、各小中学校に無欠席表彰の賞状と記念品の配達をさせていただきました。

全体として活動が少ないせいか、やられた感が強く一体となってやってる、手応えが感じられませんでした。次期は、もう少し皆で協力しあえるような体制作りを期待します。

またロータリー財団については、正直何もできませんでした。もう少しロータリー財団について勉強しておけばよかったと思います。

さて、国際奉仕といわれても正直ピンとこない気がしましたが一年経ってこの地域の国際交流の事を意識して生活してみると改めて大船渡市は、水産の町ということで非常に外国人留学生の数が多いことに気が付けられました。

そしてその国々の文化や思想そして生活があると思えました。

我々の生活は、自国の力だけで成り立っているわけではなくこんな身近なところでも国際社会として成り立っているのだと感じさせられました。

このような経験をさせてもらい非常に西ロータリー皆様には、感謝しております。ありがとうございました。

来季からも皆様の活躍を期待しております。改めて本当にありがとうございました。

◆◆ 懇 親 会 ◆◆





◆◆ 社会奉仕委員会活動 ◆◆

6月27日（木）15時 障がい者支援施設「吉浜荘」へタオルを寄贈してきました。
 この活動は35年も続いている事業で、施設の方からは、「感染予防等にもタオルは欠かせないもの
 大変ありがたい」とおっしゃって頂きました。
 これからも皆様のご協力の下、継続していきたいものです。（本年度の協力者9名で寄付数約162点）



吉浜荘にタオル贈る
 大船渡市の大船渡西ロータリークラブ（R.C.）は、27日、同市の社会福祉法人発生会（佐々木伸介理事長）が運営する三陸町吉浜の障がい者支援施設「吉浜荘」（田中雄一施設長）にタオルを寄贈する。この日は、紀室会長、三陸町大橋幹事、松田福美副幹事が訪問、タオルを受け取る。30年以上にわたり、同施設へタオルを寄贈している。同R.C.は平成元年から、会員からタオルを募り同施設に寄贈する活動を行っており、今年約100枚のタオルが寄せられた。

取った田中施設長は「当施設は60人が利用しており、新型コロナウイルスの感染に気を付けて事業を行っている。その中で一番頼りになるのがタオル。ありがたき使わせていただくと感謝を伝えた。」
 紀室会長は「地域のなかに自治体だけではできないことや、自分たちができることがあればやってみよう。インターアクティブなどの若い人の力と一緒に、地域に貢献する活動を行っていく。続けることが大事だと感じ」と話した。

立根町でクマ目撃相次ぐ
 28日午前8時25分ごろ、大船渡市立根町字屋田地区でクマの目撃情報があった。大船渡警察署によると、現場は成仁ハウス百年の里から東へ約200メートルの路上。子クマ1頭が、南側の警備林から北側の林へ道路を渡